

取扱注意

烏城公園石山地区整備及び管理運営事業 募集要項等に関する説明会

説明資料 (設計)

令和8年5月

岡山市 都市整備局 都市・交通部 庭園都市推進課

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

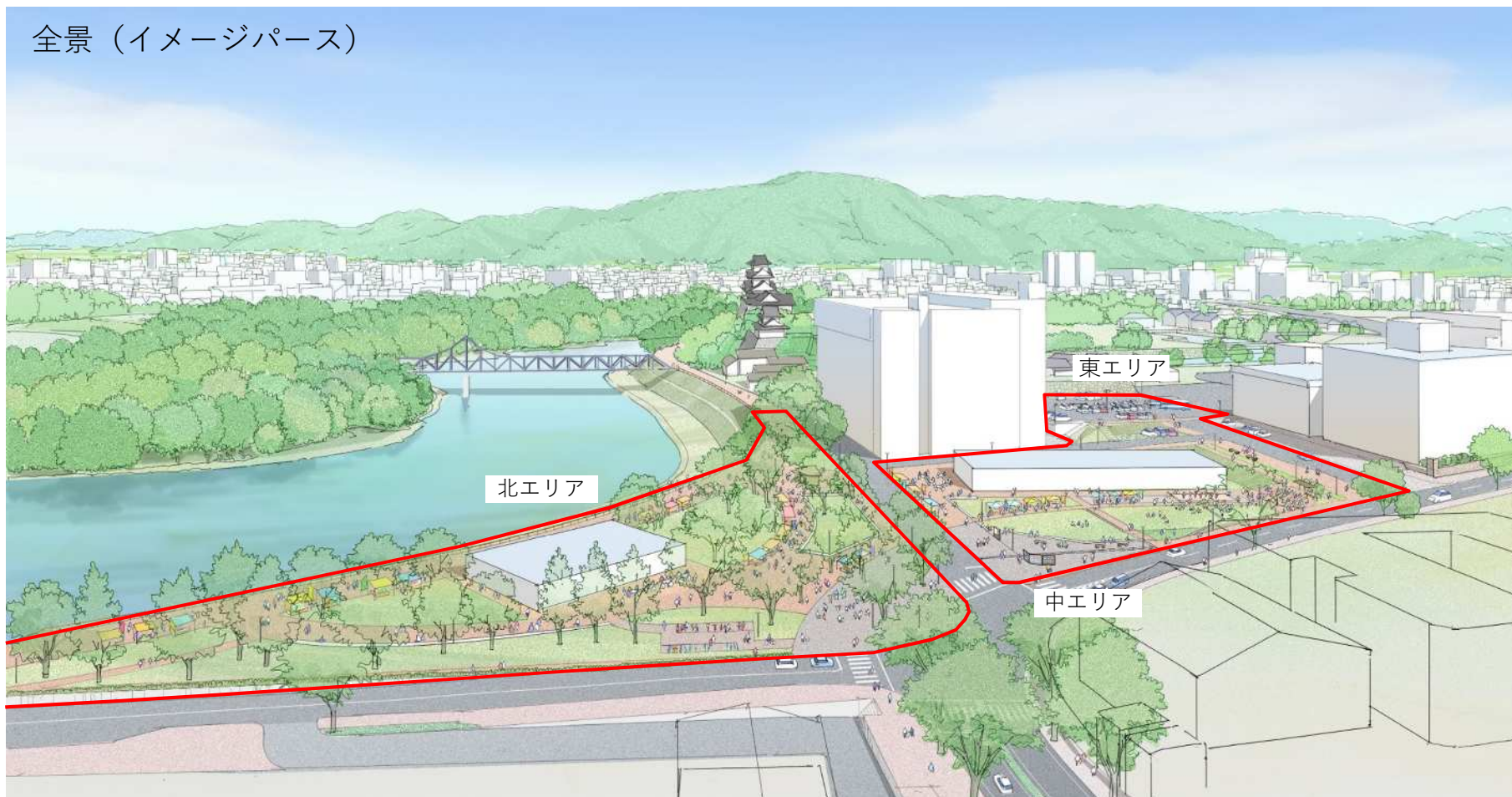
「岡山城西の丸周辺広場ほか管理・運営事業者選定支援業務委託」受託業者

1. 全体コンセプトとイメージパース

歴史を感じる 憩いの広場


- ▶ 市民や観光客、こどもから大人まで、様々な人が歴史を感じながら、憩い、楽しめる自由度の高い広場を目指します。

全景（イメージパース）



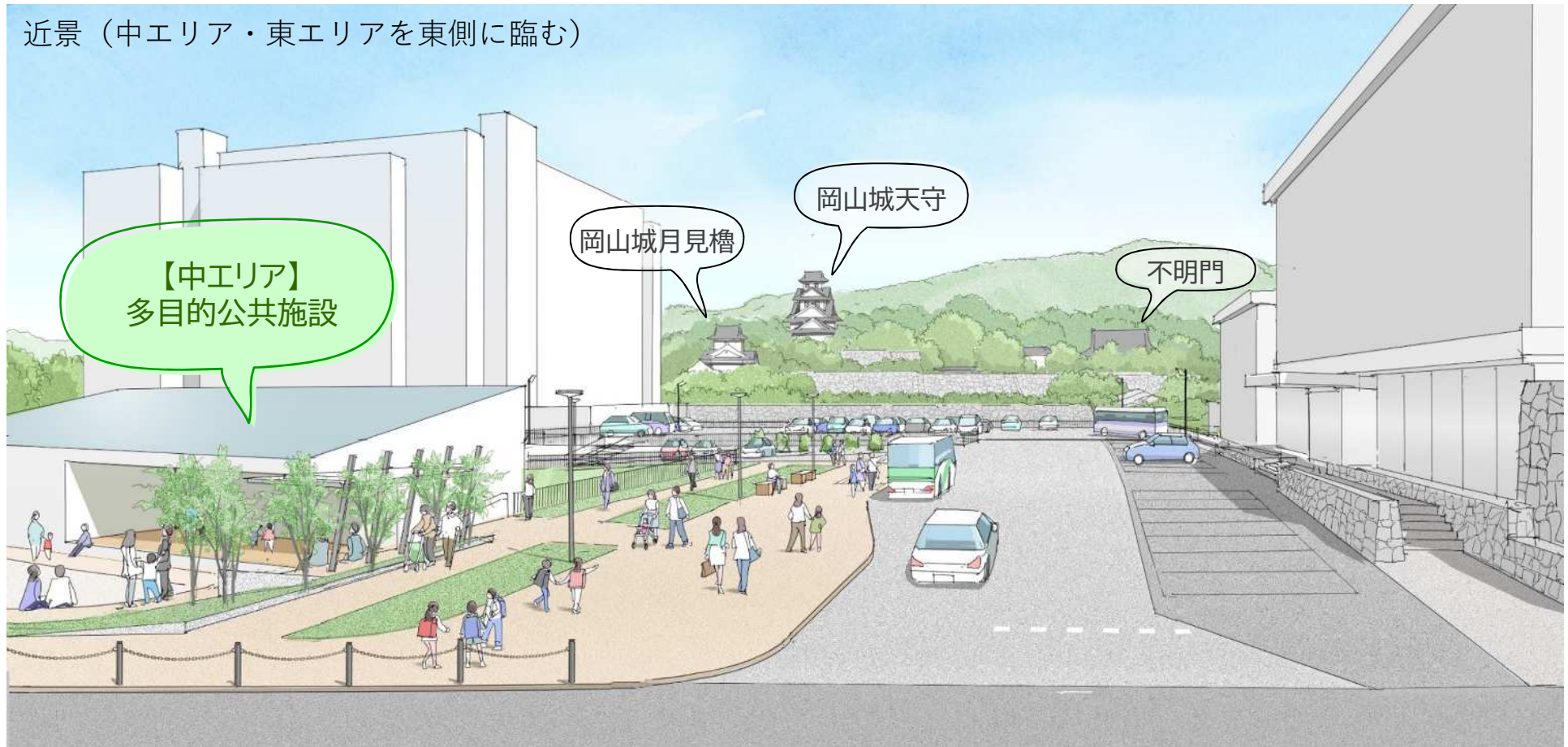
※建物は最大規模を想定して表現しています。

※民間事業者の提案によって、変更になる可能性があります。

 烏城公園石山地区

1. 全体コンセプトとイメージパース

近景（中エリア・東エリアを東側に臨む）

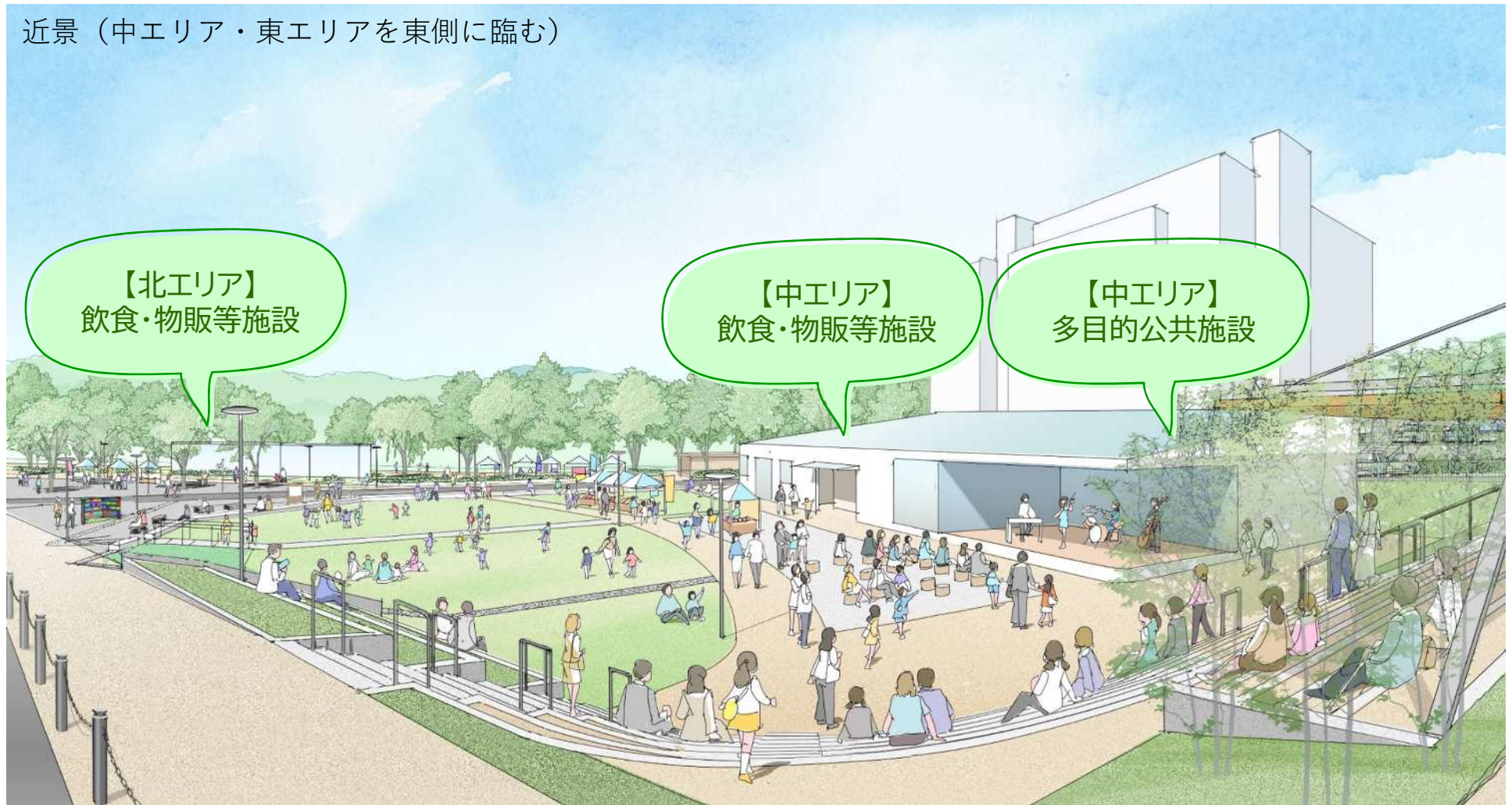


※建物は最大規模を想定して表現しています。

※民間事業者の提案によって、変更になる可能性があります。

1. 全体コンセプトとイメージパース

近景（中エリア・東エリアを東側に臨む）

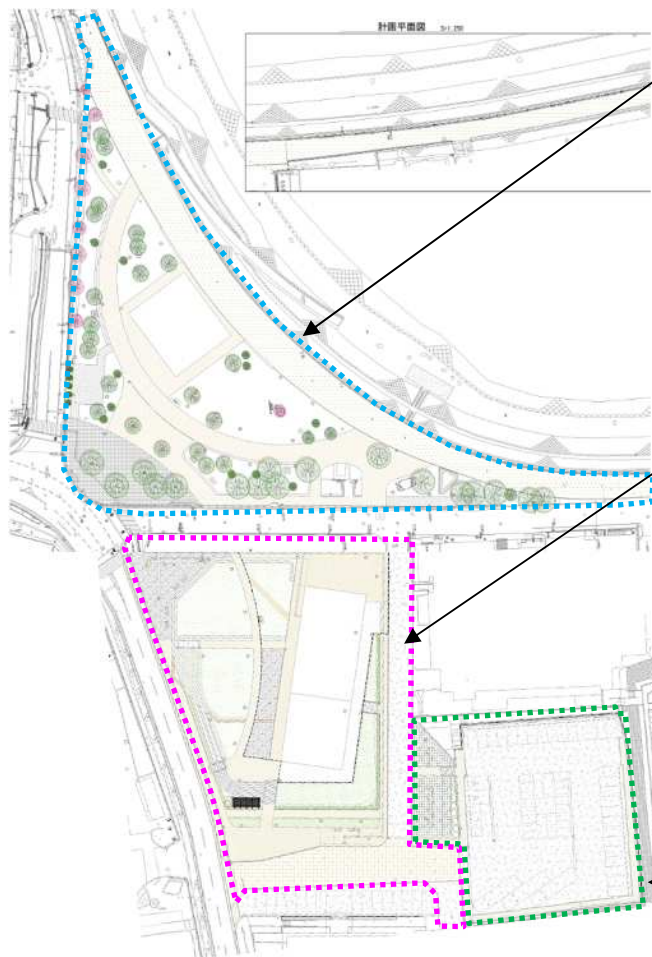


※建物は最大規模を想定して表現しています。

※民間事業者の提案によって、変更になる可能性があります。

2. 各エリアコンセプト

➤ 各エリアコンセプトは以下のとおりです。



北エリア

旭川河畔や既存樹木を活かした、憩いをもたらす水と緑の場

- 岡山城・後樂園へのエントランス空間・メイン動線となるとともに、既存樹木や新たな植栽の木陰のもと旭川や岡山城を眺めながら、のびやかな芝生広場やベンチで憩い楽しめる空間とします。

中エリア

様々な人が活動・交流できる賑わいの場

- イベントなど多様な使い方に応える舗装広場・芝生広場が、高低差を活かした段々ベンチやステージを備えた建築物と相まって賑わいや都市活力を創出する空間とします。

東エリア

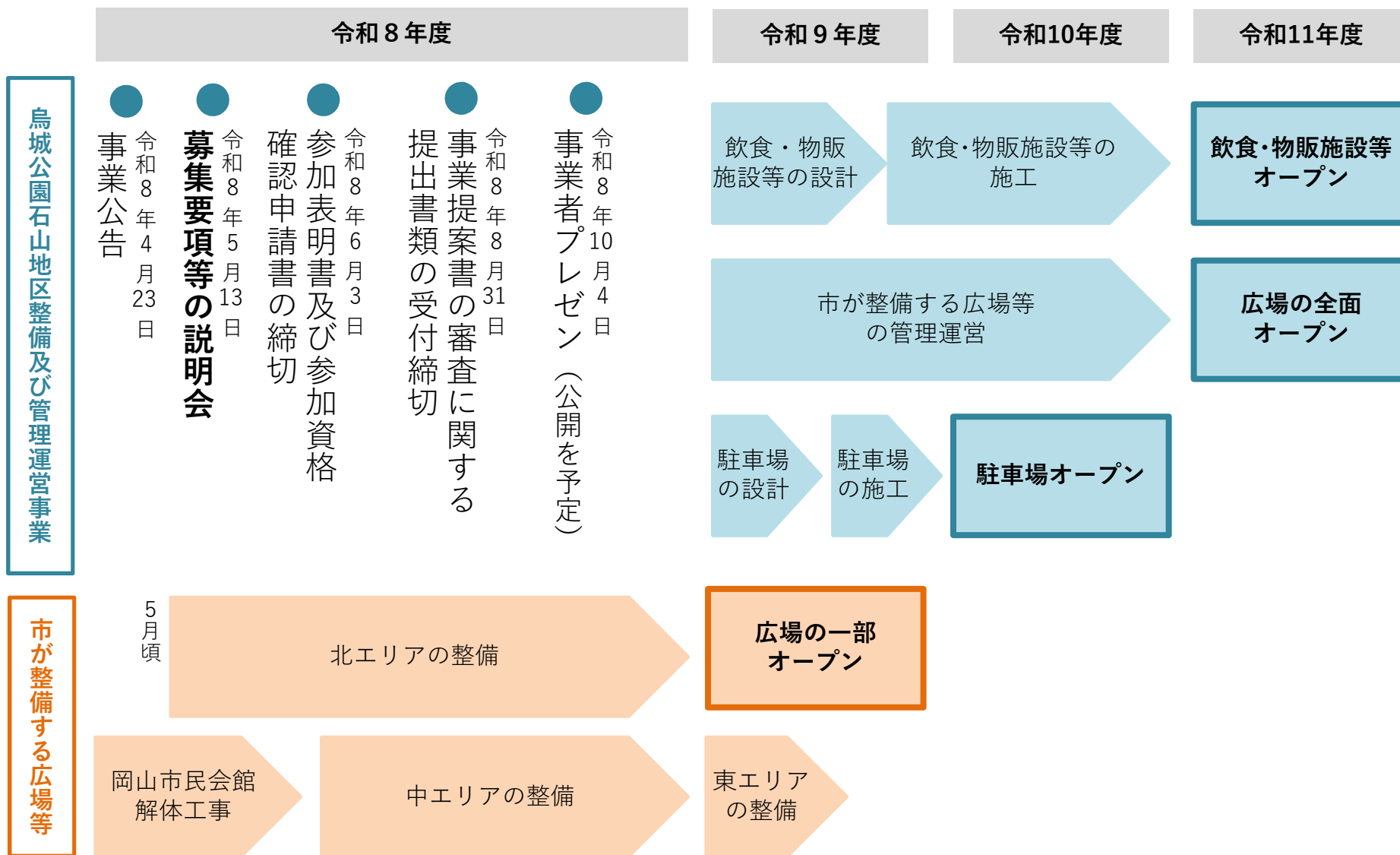
岡山城天守閣への景観に配慮した駐車場

- 烏城みちから岡山城天守閣への景観を配慮した駐車場とします。

※平面図はR8年4月時点版

3. 事業の流れ

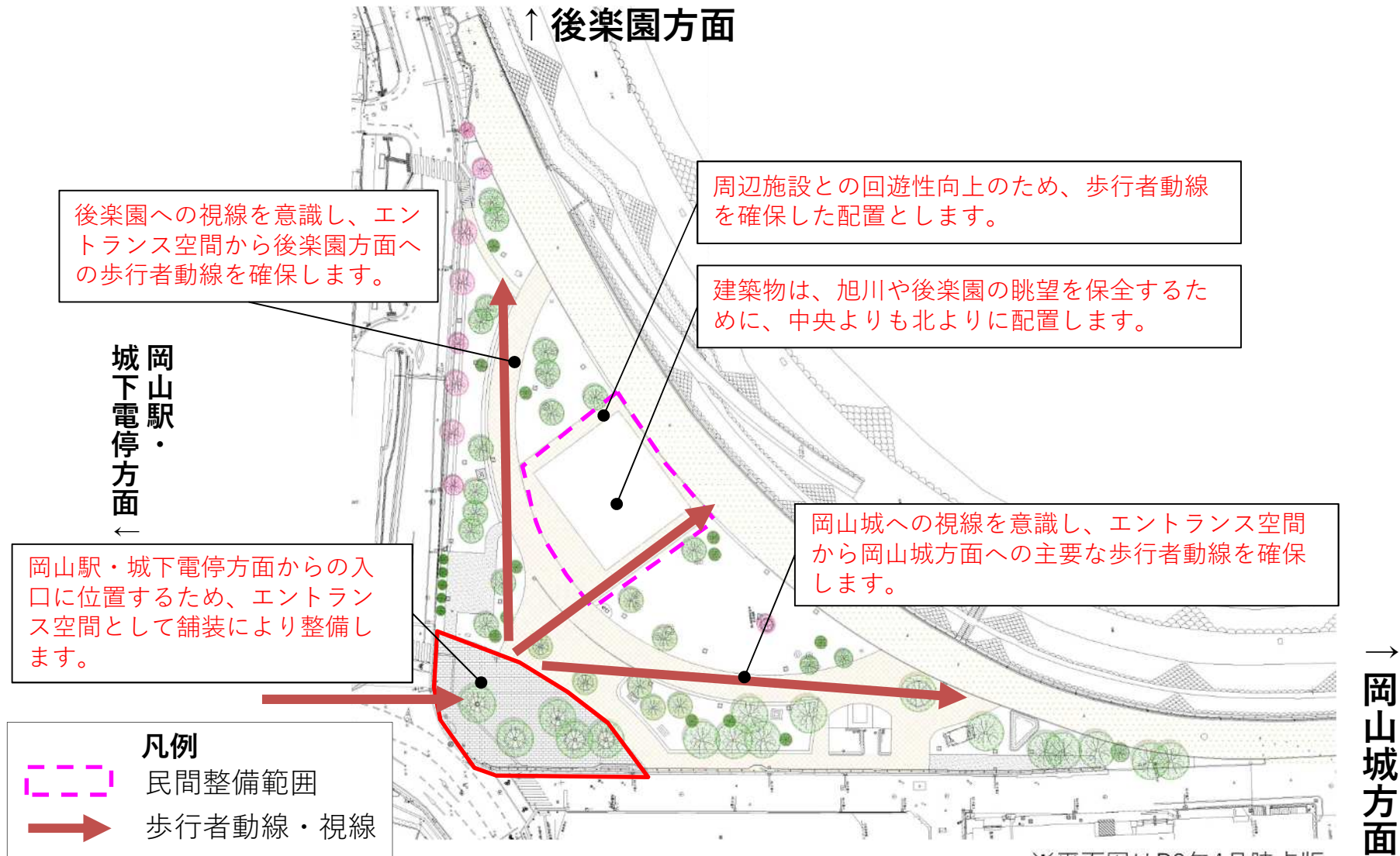
募集要項



4. 北エリア：設計内容

(1) 平面レイアウトの考え方

- 北エリアは岡山城、後楽園への動線上に位置することから、眺望を意識した歩行者動線を確保します。



※平面図はR8年4月時点版

4. 北エリア：設計内容

(2) 整備する施設について

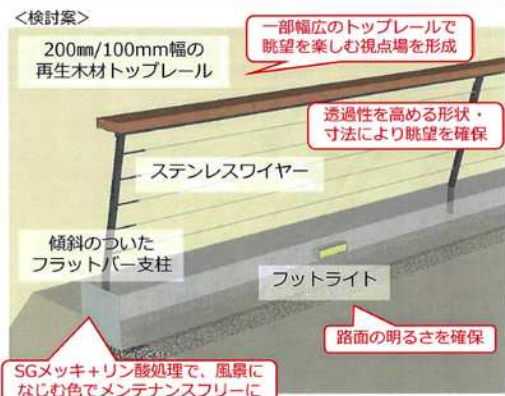
➤ 整備する施設は以下のとおりです。

○：スツール
木陰での憩いの場を創出するため、スツールを配置します。

高さが低い旭川沿いの転落防止柵は、安全な高さを確保しつつ、後楽園・旭川の景観に配慮した透過性や、幅広手すりの利便性の高いものを整備します。



※坂路は開口部を設けます。



転落防止柵イメージ

ももちゃりスペース

民間整備範囲

岡山城・後楽園・旭川を眺望するベンチを整備します。

事業者利用を想定した将来用給水・汚水管等を、市で先行整備します。



コンクリートベンチイメージ

日常時、イベント時を問わず、人が滞留できるコンクリートベンチを整備します。

落とし込みの車止めとすることで、様々なイベントに対応します。

駐輪スペース

※平面図はR8年4月時点版

工事名	岡山県立美術館新築工事		
図面名	施設平面図		
年月日			
縮尺	0=1:250	図面番号	7 / 30
会社名	株式会社オリエタルコンサルタンツ		
担当	廣田 裕市 推進課		

4. 北エリア：設計内容

(※民間整備範囲の設計内容なし)

(3) 植栽の考え方：植栽平面図

- イベント利用を阻害しない位置に既存樹と同様の樹種の樹木を植え、イベント利用に適した芝生広場とします。
- 広場としてイベント利用時に高い踏圧がかかると予想される範囲に耐寒性省管理改良高麗芝を採用し、イベント利用がないと想定される範囲に上記以外の芝を採用します。
- ベンチ、スツールの足元には、芝生保護材を設置します。



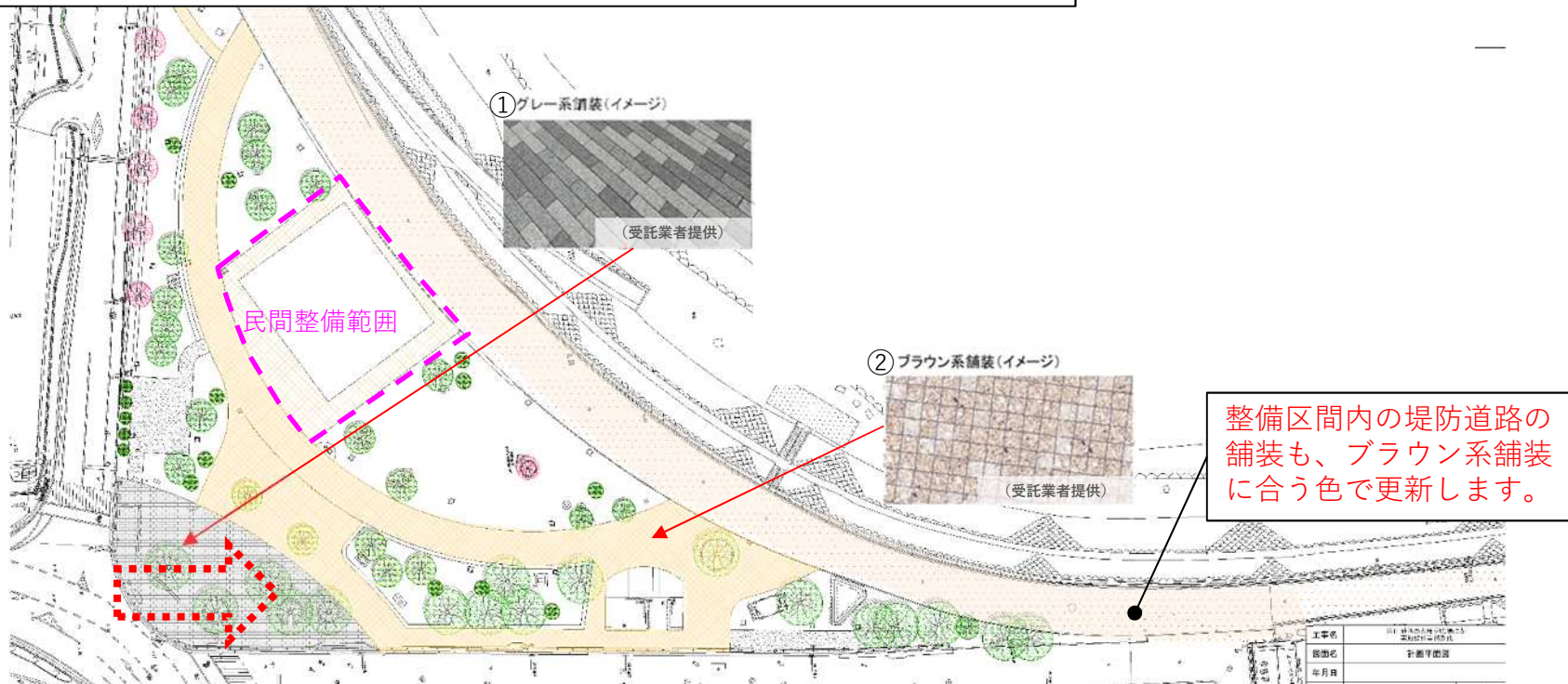
4. 北エリア：設計内容

(4) 舗装の考え方

- 景観や維持管理性に加え、歩行性にも配慮した材料により、舗装を整備します。
- 雨水流出抑制対策のため、透水性舗装で整備します。（民間整備範囲外構部も同様の対応が必要です。）

本計画では、動線誘導と空間特性の明確化を目的に、長手部材と四角部材の舗装をエリアごとに使い分けを行いました。

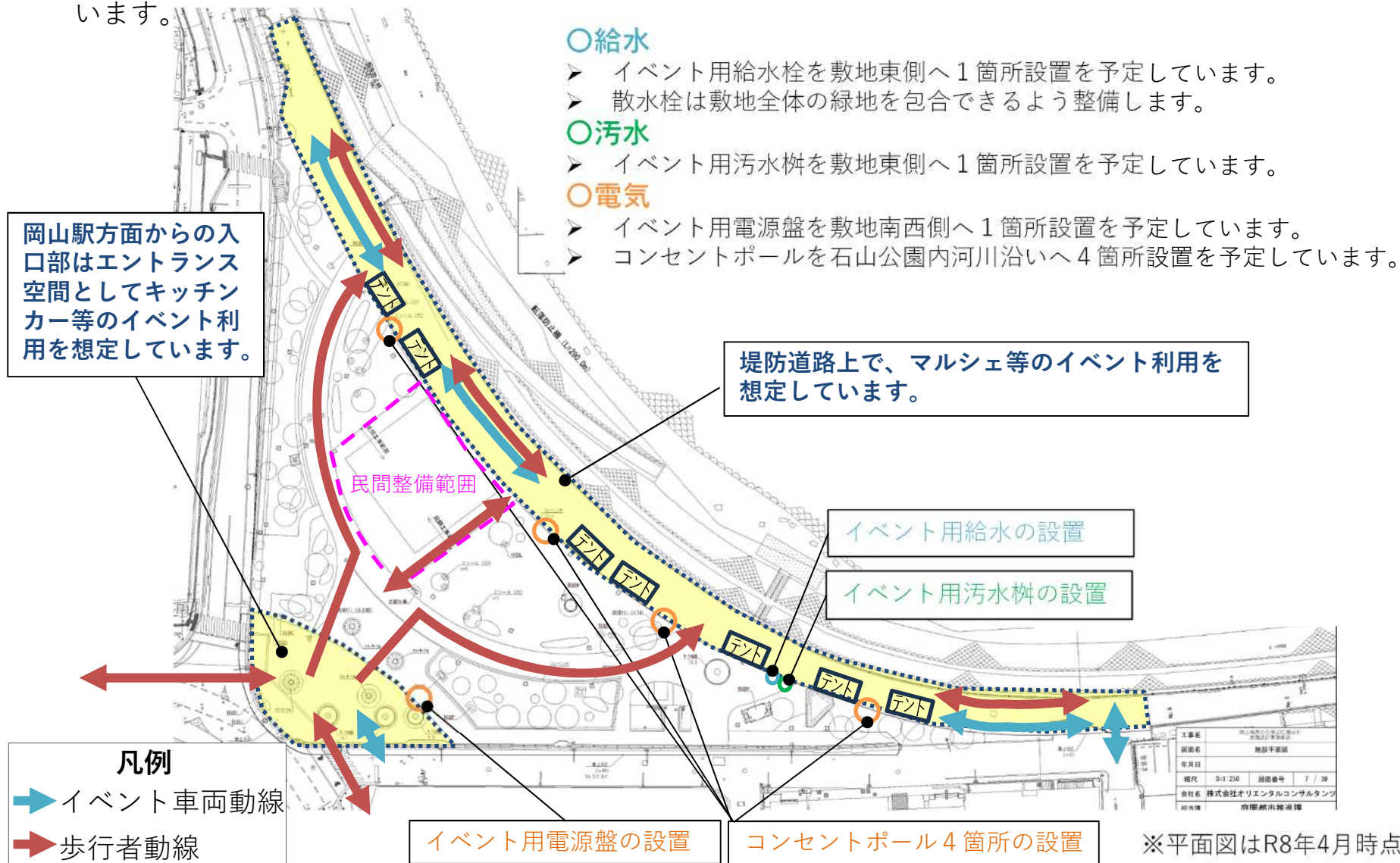
- ① エントランス部は、園内への流れを生み出し、都市景観としての方向性を示すため、ライン性のあるグレー系の長尺舗装を採用しました。
 - ② 広場・園路は、方向性を持たせず自由な利用が可能となるよう、正方形の舗装とし、やわらかい印象を演出するためブラウン系（自然系舗装）を採用しました。
- ①と②の2種類の色調を使い分けることで周辺環境との調和を図りつつ、来訪者に新鮮な印象を与える空間を目指します。



4. 北エリア：設計内容

(5) イベント利用時の配置イメージ

- 堤防道路上でのマルシェ等の開催や、エントランス部分でのキッチンカー等のイベント利用を想定しています。

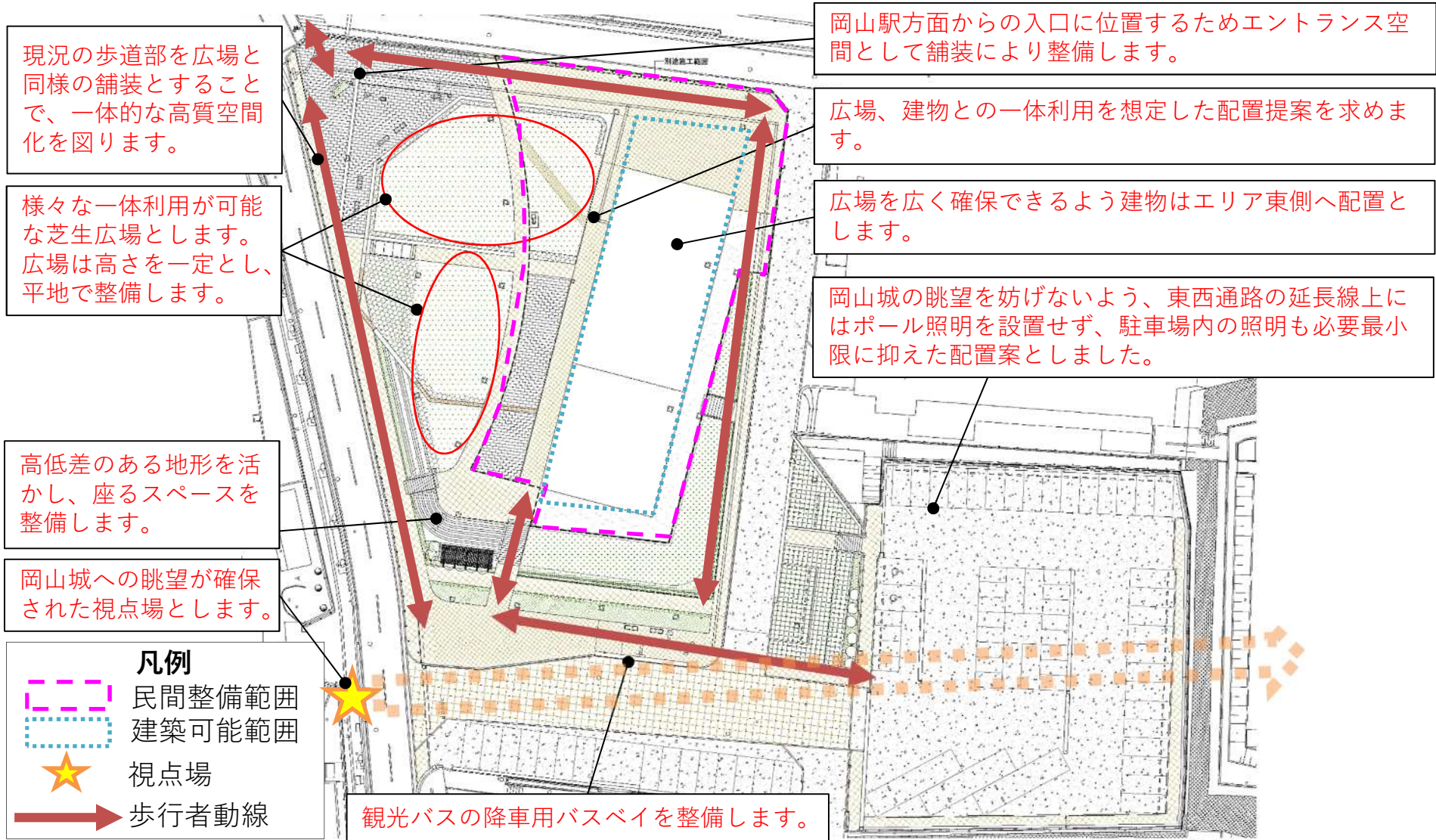


※平面図はR8年4月時点版

5. 中・東エリア：設計内容

(1) 平面レイアウトの考え方

➤ イベント利用も想定して開放的な広場を確保し、北エリアとの連続性や一体性にも配慮します。



※平面図はR8年4月時点版

5. 中・東エリア：設計内容

(2) 整備する施設について

➤ 整備する施設は以下のとおりです。

□：メモリアル部材

旧市民会館のモザイクガラス、中空ブロック、外壁タイルを活用し意匠を継承します。

落とし込みの車止めとすることで、様々なイベントに対応します。

旧市民会館ラインを継承しながら人の滞留を促すと共に道路への飛び出し防止のため、コンクリートベンチを設置します。



(受託業者撮影)

コンクリートベンチイメージ

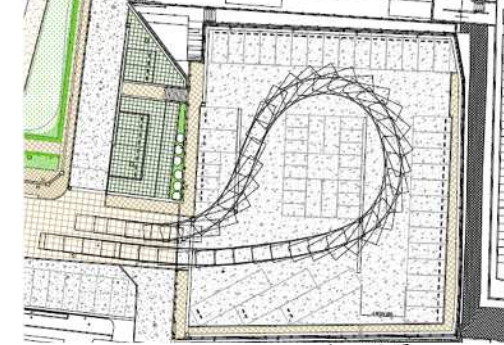
旧市民会館ラインを舗装や蛇かごにて表現します。

高低差のある地形を活かし、建物西側で想定される多様なイベントに呼応した観覧スペースを整備します。

岡山城への眺望を遮らない位置に、日陰を作るためのパーゴラと中木を配置します。

スムーズなバス利用を想定したバリアフリー縁石を設置します。

降車バス（バスベイ）で降ろした後、駐車場の場内で観光バスの回転が可能とすること。



駐車場
(任意提案)

駐車場
(Park-PFIによる
必須提案)

駐輪場
(任意提案)

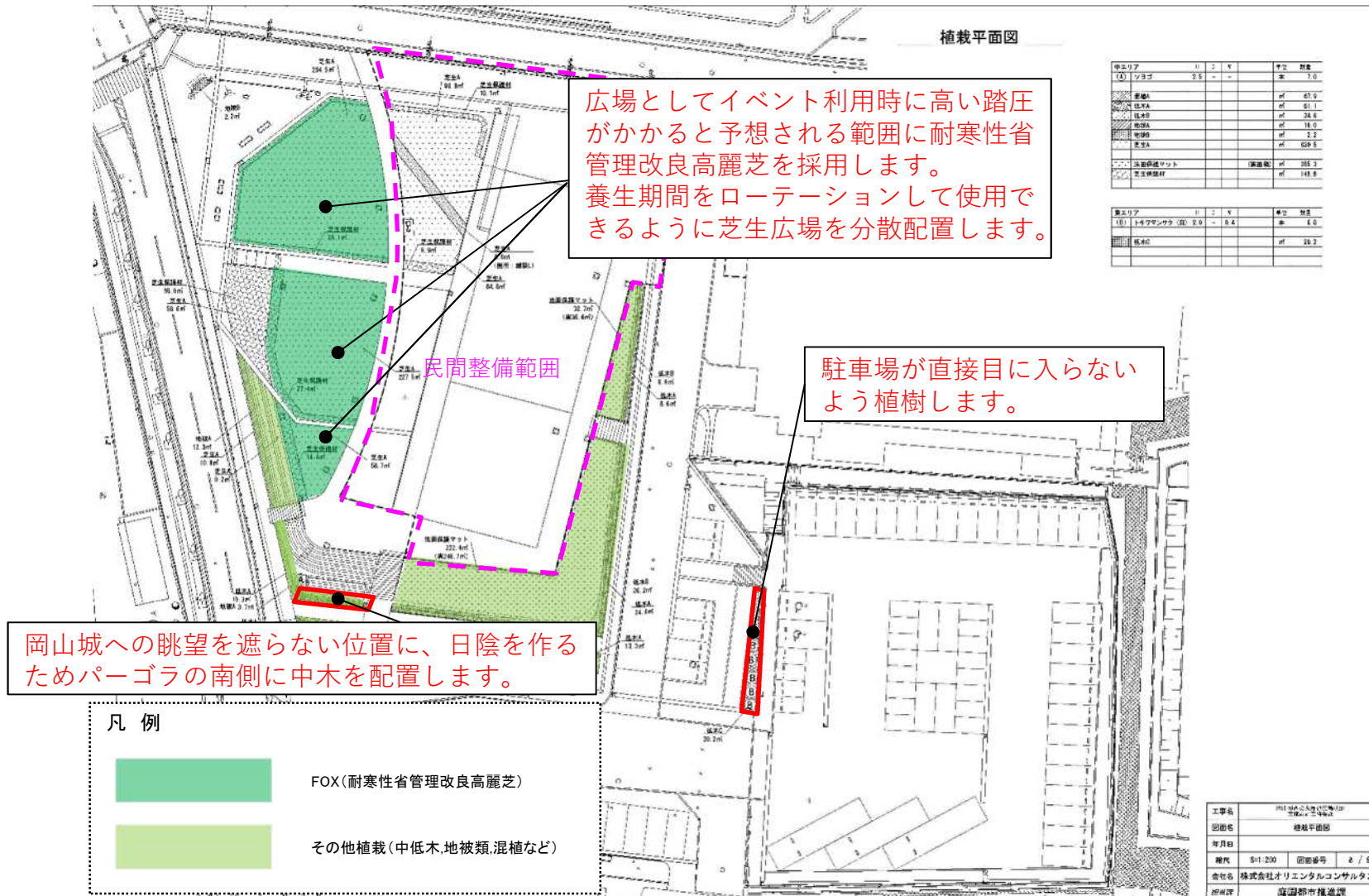
工事名	岡山県立美術館新館
図面名	施設平面図
年月日	
総枚	511/200
図面番号	7 / 50
会社名	株式会社オリエンタルコンサルタン
担当者	成田 博之

※平面図はR8年4月時点版 12

5. 中・東エリア：設計内容

(3) 植栽の考え方

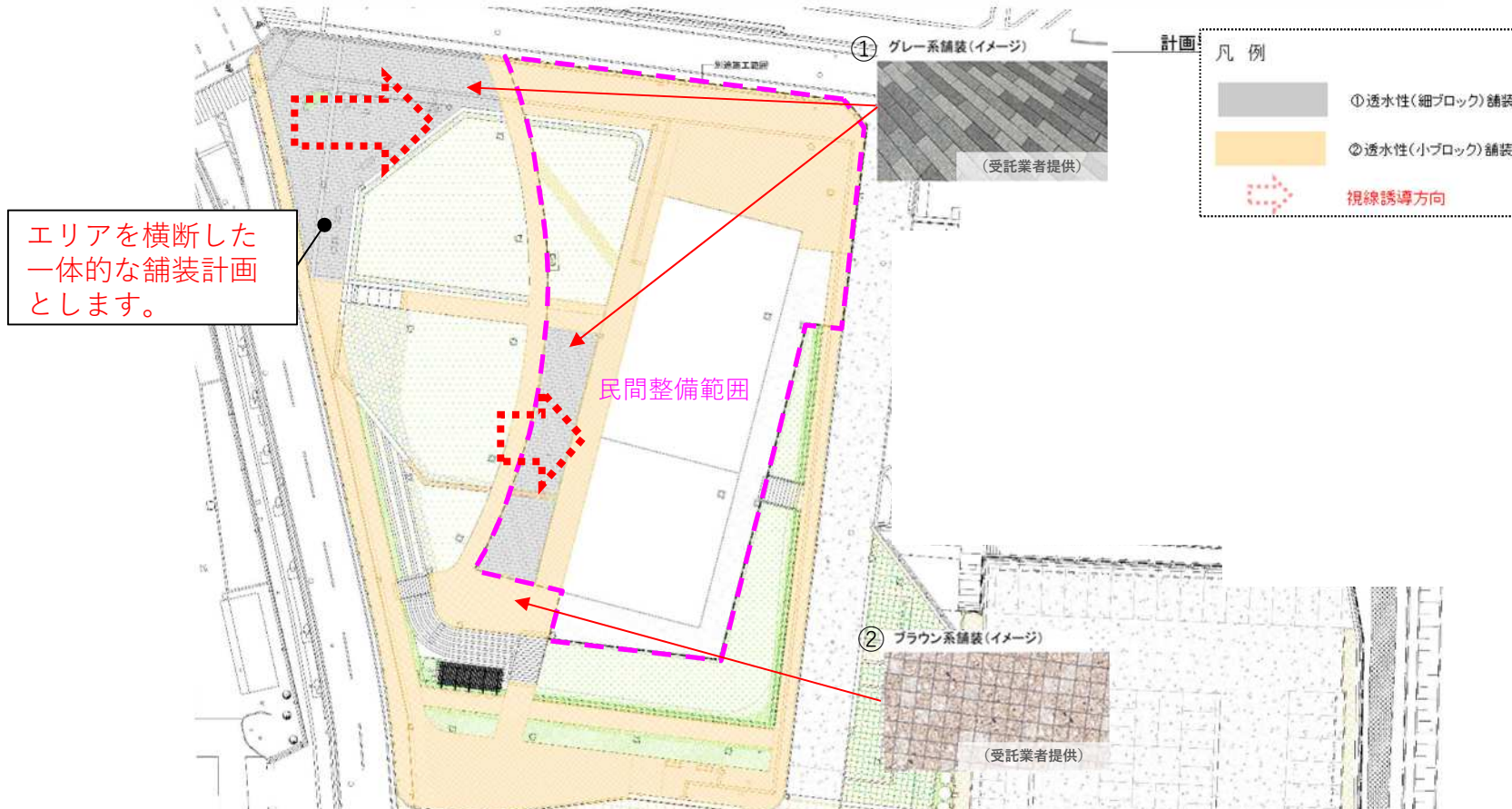
- ▶ 中長期的なまちづくりの展開を考慮し、高木の植栽は行わず、目隠しや日陰の中低木とイベント利用のための芝生広場を配置します。



5. 中・東エリア：設計内容

(4) 舗装の考え方

- 景観や維持管理性に加え、歩行性にも配慮した材料により、舗装を整備します。
- 雨水流出抑制対策のため、透水性舗装で整備します。（民間整備範囲外構部も同様の対応が必要です。）



本計画では、動線誘導と空間特性の明確化を目的に、長手部材と四角部材の舗装をエリアごとに使い分けを行いました。

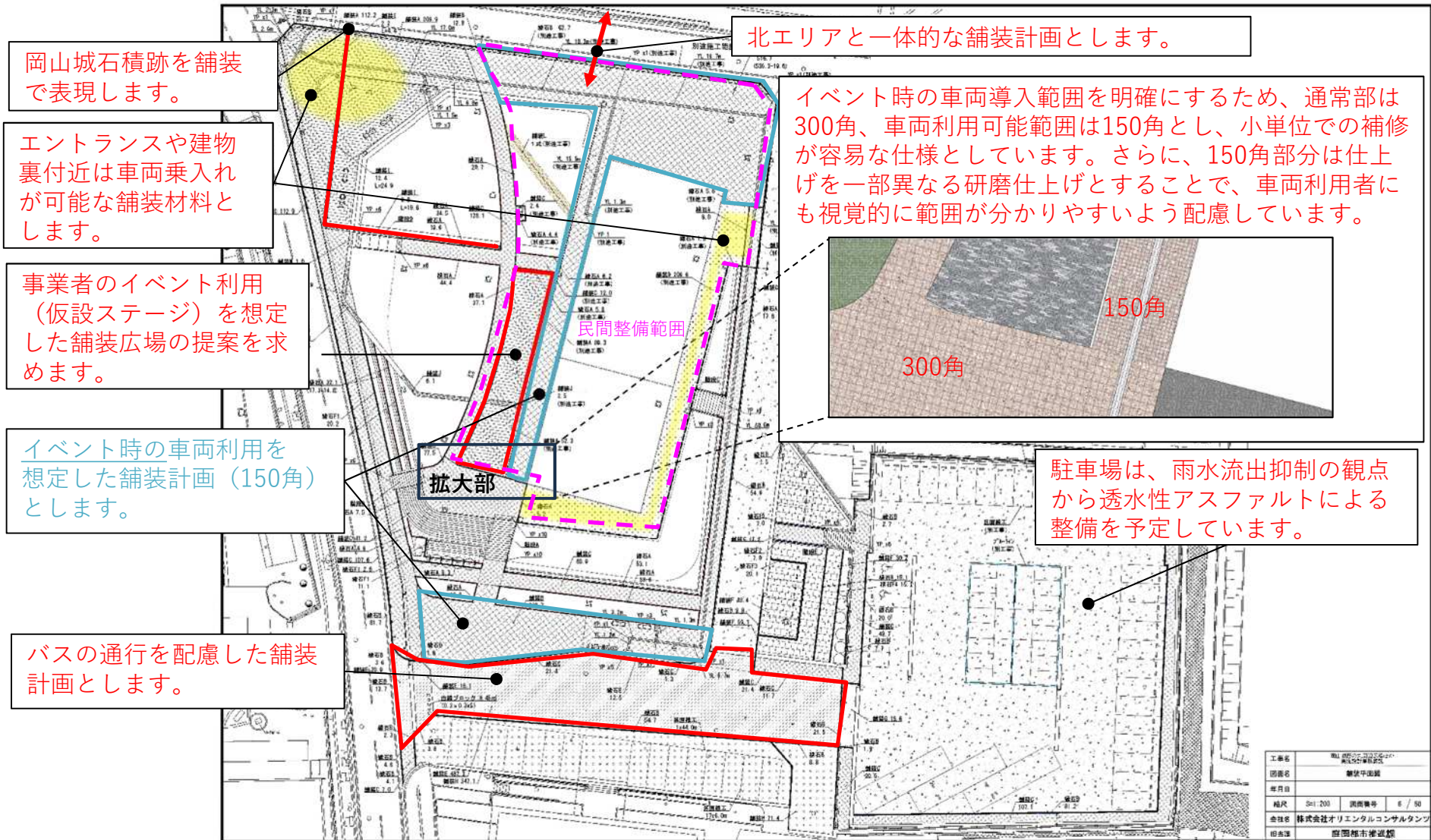
①エントランス部は、園内への流れを生み出し、都市景観としての方向性を示すため、ライン性のあるグレー系の長尺舗装を採用しました。

②広場・園路は、方向性を持たせず自由な利用が可能となるよう、正方形の舗装とし、やわらかい印象を演出するためブラウン系（自然系舗装）を採用しました。

5. 中・東エリア：設計内容

(4) 舗装の考え方

➤ 景観や維持管理性に加え、歩行性にも配慮した材料により、舗装を整備します。

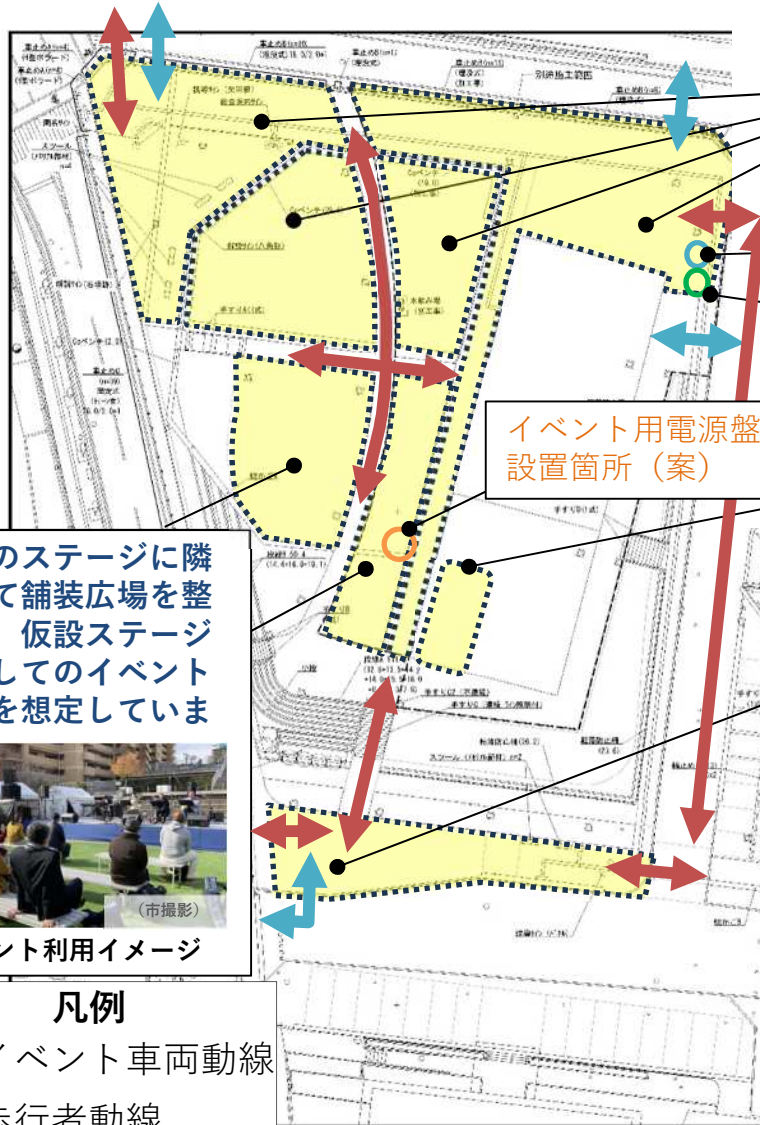


※平面図はR8年4月時点版

5. 中・東エリア：設計内容

(5) イベント利用時の配置イメージ

➤ 広場の他、舗装広場、常設のステージ（コンクリート台）でのイベント利用を想定しています。



広場を活用したマルシェ等のイベント利用を想定しています。

イベント用給水の設置箇所（案）

イベント用汚水柵の設置箇所（案）

イベント用電源盤の設置箇所（案）

建築物前面に、常設のステージ（コンクリート台）を設置します。建築物内の貸しスペースとの連携や、壁面の活用を想定しています。

キッチンカー等のイベント利用を想定しています。

常設のステージに隣接して舗装広場を整備し、仮設ステージ等としてのイベント利用を想定しています。

（市撮影）
イベント利用イメージ

凡例

➡ イベント車両動線

➡ 歩行者動線

- 給水 ※民間事業者による整備
 - イベント用給水栓を敷地北東側へ1箇所設置を想定しています。
- 汚水 ※民間事業者による整備
 - イベント用汚水柵を敷地北東側へ1箇所設置を想定しています。
- 電気 ※民間事業者による整備
 - イベント用電源盤を敷地南側（建物西側）へ1箇所設置を想定しています。